

サンゴの育つ温帯の海－足摺宇和海国立公園における海洋生物多様性の解明とその保全および普及活動

活動地域  高知県・愛媛県



沖の島小学校での出前授業の様子

課題

足摺宇和海の生物多様性の根幹をなすサンゴ群集は食害生物により甚大な影響を受けている。また、地域の人々が資源の価値を理解しづらく直接的に関わる機会が不足している。

目標

足摺宇和海の特色と環境変動の影響を受けやすいサンゴ群集と海洋生物多様性の理解を深める。また、資源を継続的に利用するための保全活動を進め、その魅力を広く普及する。



今後の展望

足摺宇和海の生物多様性を把握するため、重点的な調査を進める。また、サンゴ群集のモニタリングや食害生物の駆除を継続する。さらに講演会や観察会を実施し、足摺宇和海や生物多様性に関する意識を向上させる。

つづける助成

1年目

調査研究

活動内容と成果

- 足摺宇和海におけるサンゴ群集の生物多様性把握のための活動を実施し、1,101種の生物を確認
- 本研究所のホームページのWeb図鑑「黒潮の生き物たち」に170種を掲載
- 魚、底生生物、海藻の種リストを作成
- サンゴ群集のモニタリングを5地点で実施し、全地点でオニヒトデの食害を確認。特に多くの食害が確認された沖の島と竜串で各3回ずつ駆除を実施し、計187個体を駆除
- Web図鑑の閲覧数は約3,800人に到達。また、Web図鑑の執筆者として外部研究者4人を招聘し、一般からも5人が参加



オニヒトデの駆除の様子

Web図鑑掲載数 **170種**

オニヒトデの駆除数 **187個体**

今年度計画の達成度 **80%**

目標達成度 **40%**

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、不特定多数の参加者を募集するイベントや勉強会の開催が中止に追い込まれた。

■工夫した点

感染症対策を十分にとり、少人数での自然学習会、観察会を実施した。また、活動や生物を紹介したWeb図鑑の更新に努めた。

〒788-0333

高知県幡多郡大月町西泊560イ

電話：0880-62-7077

E-mail：mail@kuroshio.or.jp

HP：http://kuroshio.holy.jp/

